

政策	1 グローバルロジスティクスの港	施策推進 責任者	企画調整室長
基本施策	01 国際・国内海上輸送機能の強化		
個別施策	08 伊勢湾内連携を強化する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	船社、港運、物流企業、荷主						
	サービスの対象物(何を)	名古屋港及び四日市港のコンテナ機能等						
	意図(どういった状態にしたいのか)	多様なニーズに柔軟に対応できる						
内容	中部地域の製造業の集積と伊勢湾(名古屋港及び四日市港)の港湾機能の総合力を活かし、一港化を視野に入れて両港が連携を行い、我が国の経済と産業の成長を牽引する「国際産業ハブ港」を実現していきます。							
	目標	伊勢湾(名古屋港及び四日市港)が連携し、国際産業ハブ港の実現を目指します。						目標達成に影響する外的要因等 世界の景気動向による貨物量減少
成果指標	年度 実績等	H20	H21	H22	H23	H24	目標 H25	指標の説明(式)
伊勢湾連携にかかる具体的 施策の提案	実績	件			0	1	3	22年度からの累計
	達成率	%			0.0	33.3		
	実績							
	達成率							

2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な 活動・成果指標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 (年度)	平成24年度実施事業に基づく評価結果				
					実績	実績	実績見込み		平成24年度 末までの 状況 ※1	平成25年度以降の取組の方向性 事務事業 ※2	成果 ※3	コスト ※4	備考(判断の理由・目標年次の変更等)
					上段: 指標達成状況								
	(企画調整室) 企画担当	伊勢湾スーパー中枢港湾 連携施策の推進(個08事 01)	国、四日市港管理組合、中部国際空港(株)及び本組合等で構成する伊勢湾スーパー中枢港湾連携推進協議 会の運営を事務局の一員として行います。	連携施策の実施件数 (件)	1 2,120			1 (H22)	完了				
	(企画調整室) 企画担当	伊勢湾連携にかかる具体 的施策の推進(個08事02)	国、四日市港管理組合及び本組合で構成する、伊勢湾連携協議会及びそれぞれの施策ごとの部会を開催 し、伊勢湾連携にかかる具体的施策の提案をします。	具体的施策の提案 (件)		0 4,741	1 3,922	3 累計 (H25)	遅れ	継続	↗	➡	実現可能な具体的施策を取りまとめる必要があるため。
				施策コスト (事業費合計)	2,120	4,741	3,922						

注) 事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。
注) 目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として24年度の間目標として設定しています。

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

平成25年度以降の取組の方向性		平成25年度取組の方向性の判断の理由(本組合財政収支への影響の考察を含む※5)	
区分	成果※3	コスト※4	<ul style="list-style-type: none"> 成果は拡大としますが、コストは厳しい財政状況を踏まえ維持とします。
拡大 維持 縮小	↗	➡	
今後の展開方向(新規事業の創出、事務事業の見直し等)			
<ul style="list-style-type: none"> 昨年度設置した研究会を積極的に開催し、研究成果をとりまとめます。 実施可能な連携施策から、順次、新規事務事業として取り組んでいきます。 			

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

前年度の評価結果を踏まえて取り組んだ内容と現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> 伊勢湾内の連携強化のため、新たな貨物集荷などの施策を検討する研究会(二つの部会から構成)を設置し、背後圏産業の現状や今後の動向など企業ヒアリングを行いました。まだ施策の提案に至っておりません。 連携施策には時間を要するものもありますが、引き続き関係者と調整を行い、施策を実施していく必要があります。 	
構成事務事業の適正性(構成される事務事業で個別施策の目標を達成できているかどうか。できていない場合は改善策を記入)	
<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の構成について検討しましたが、新たな事務事業の抽出には至りませんでした。 	

